

消 防 年 報

令 和 7 年 度 版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(令 和 8 年 刊 行)

は し が き

1. この年報は、令和7年中における小豆地区消防本部の業務に関する諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将来の消防防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災・救急統計は歴年、その他については当該表右上部に収録期日を表しています。

令和8年9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1. 位置及び自然的条件	1
2. 管内図と消防本部・署の位置	2
3. 小豆郡内常備消防の沿革	3
4. 消防の沿革（組合）	4～11
5. 主たる総務行事	12
6. 歴代管理者	13～14
7. 歴代消防長	14～15
8. 歴代消防署長	15～17
9. 消防の組織・機構	18
10. 事務分掌	19～20
11. 管内面積及び人口・世帯数	20
12. 消防庁舎の現状	21
13. 職員の勤務年数	21
14. 職員の年齢	22
15. 職員の配置状況	22
16. 消防力の現勢	23
17. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	23
18. 消防予算	24
19. 令和8年度町別一般会計予算と消防予算	24
20. 消防費基準財政需要額及び町負担金	24
21. 職員特殊技能資格取得状況	25
22. 職員教養状況調	26
23. 職員居住地調	26
24. 職員任用退職状況調	27
25. 職員の推移	28

予 防

1. 防火対象物現況表	29
2. 防火管理者選任届状況	30
3. 建築同意事務処理状況	31
4. 危険物施設の現況	32
5. 危険物施設の許認可状況	32
6. 各種届出事務処理状況	33
7. 中高層建築物（4階以上）の現況表	34

消 防 防 災

1. 主たる警防行事	3 5
2. 主たる救急行事	3 5
3. 消防車両等配置状況	3 6
4. 主な機械器具の配置状況	3 7～3 8
5. 消火薬剤の備蓄状況	3 9
6. 消防水利の現況	3 9
7. 防災関係届出事務処理状況	3 9
8. 災害別出動状況	4 0
9. 救急法指導状況	4 0

情 報 指 令

1. 消防通信指令システム系統図	4 1
2. 通信施設状況	4 2～4 4
3. 119番受信状況	4 5
4. 気象状況（観測地：消防本部）	4 5
5. 気象情報発表回数	4 6

火 災 統 計

1. 火災発生状況	4 7
2. 時間別火災状況	4 8
3. 月・曜日別火災状況	4 8

救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況	4 9
2. 覚知別救急出場状況	4 9
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	4 9
4. 救急隊員の行った応急処置数	5 0
5. 時間別救急出場状況	5 0
6. 曜日別救急出場状況	5 1
7. 現場到着所要時間別出場状況	5 1
8. 収容所要時間別搬送人員	5 1
9. 年齢区分別搬送人員	5 2
10. 発生場所別搬送人員	5 2
11. 管轄外転院搬送件数	5 2
12. 傷病程度別搬送人員	5 3
13. 小豆2町、年別救急出場状況	5 3
14. 過去10ヶ年の主な救急出場状況	5 3

消 防 団

1. 2町消防団現勢分布図	5 4
2. 消防団の組織・機構	5 5
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	5 6
4. 消防団員数及び装備状況	5 6～5 7
5. 町別消防車両等種別現況	5 7～5 8
6. 消防団員報酬調	5 8
7. 消防団員諸手当調	5 9

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

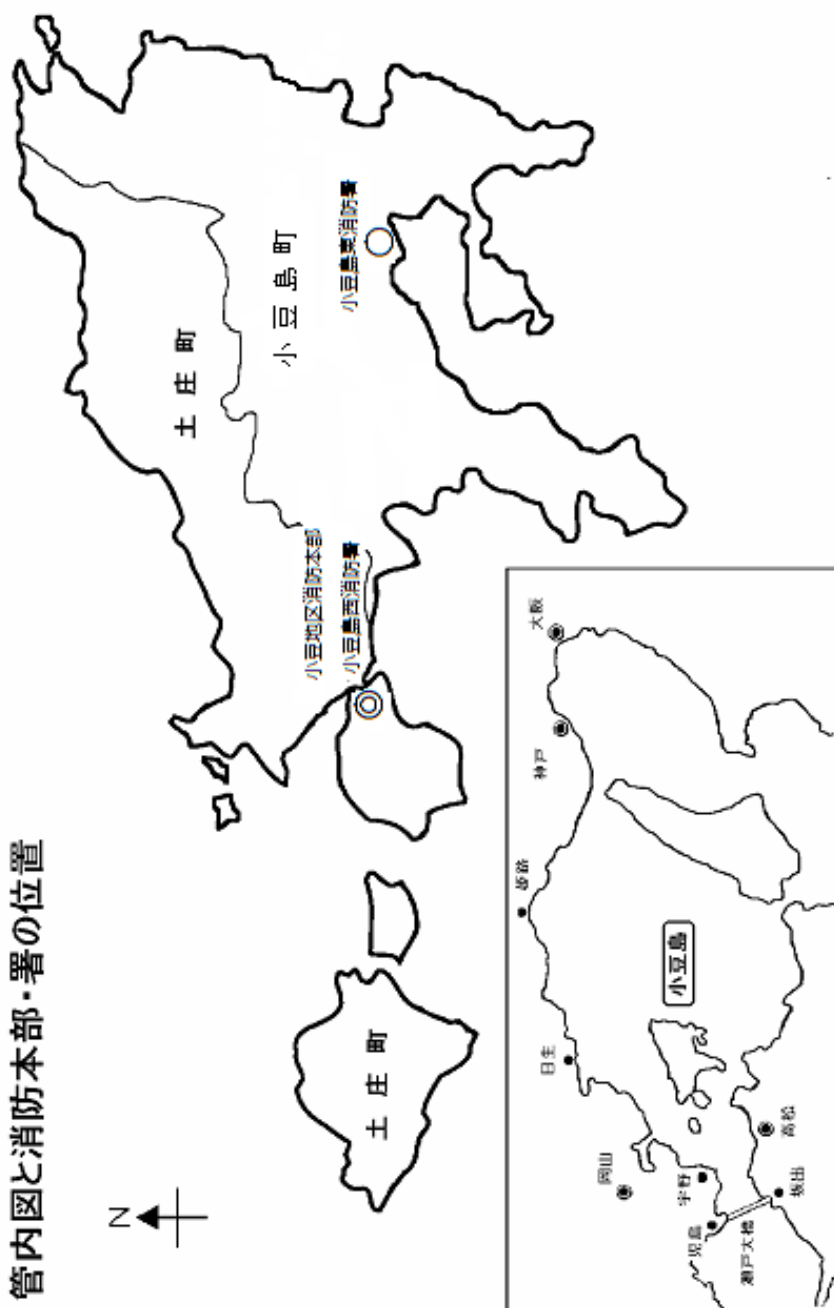
地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰816mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、瀬戸内海国立公園の「寒霞溪」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



2. 管内図と消防本部・署の位置



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 1 0 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 1 2 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 1 0 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 1 1 月～3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 1 3 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 1 7 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女性職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 8 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 9 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 1 7 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2ヵ所から同時に起った林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和46年7月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和47年3月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5月	消防職員1名、女性事務職員1名採用、職員総数47名となる。
6月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和48年1月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。（旧ポンプ車は池田分署へ配置する。）消防職員1名退職、職員総数45名となる。
4月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員17名を採用、職員総数62名となる。池田分署へ3名増員し、分署署員5名となり、夜間は通信員1名常駐する。 内海分署庁舎落成し（内海町安田甲144-90）移転する。
5月	消防職員1名土庄町へ、職員総数61名となる。
7月	消防職員1名退職し、職員総数60名となる。
8月	内海分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。

	消防職員 1 名退職し、職員総数 5 9 名となる。
9 月	無線移動局 3 基、携帯局 5 基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11 月	消防署へ消防救急指令装置（NEC、FD201 型）を設置し、運用を開始する。
昭和 49 年 1 月	池田分署へ 6 名増員し、分署署員数 1 1 名となり隔日勤務体制をとる。
3 月	消防職員 2 名土庄町へ、1 名内海町へ転出し、職員総数 5 6 名となる。
4 月	消防職員 6 名採用、職員総数 6 2 名となる。
	内海分署へ救急車（トヨタハイエース 2 B 型）を配置するとともに 6 名を増員しポンプ車隊、救急車隊の 2 隊編成をとり分署署員数 1 9 名となる。池田分署へ 2 名増員し、分署署員数 1 3 名となる。
5 月	内海分署において、救急業務を開始する。
7 月	消防本部へ査察広報車（トヨタカローラバン）を配置する。旧車は池田分署へ配置する。
	7 月 6 日、台風 8 号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橘地区を中心に死者 2 9 名、重軽傷者 4 2 名、家屋全半壊 1 2 8 戸を出す大惨事となる。
	大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
8 月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車（ニッサン F H 6 0 型）を購入配置する。
昭和 50 年 3 月	消防職員 2 名退職し、職員総数 6 0 名となる。
	無線移動局 1 基、携帯局 5 基を増設する。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 2 名となる。
6 月	内海町より 1 名、職員総数 6 3 名となる。
7 月	池田分署へ消防ポンプ車（ニッサン F H 6 0 型）を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
9 月	無線移動局 2 基、携帯局 1 基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11 月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の 3 課制をとる。
昭和 51 年 3 月	消防職員 2 名退職し、職員総数 6 1 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 6 4 名となる。
9 月	防災工作車（トヨタハイエース W キャブ）を 2 台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。
	台風 1 7 号により、9 月 8 日から 9 月 1 3 日までに小豆島全域にわたり、わずか 6 日間で年間降雨量を超える 1, 4 0 0 ミリ（1 1 日～1 2 日で 8 0 0 ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして 3 9 名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。
	史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9 月 1 2 日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の搜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々 1 2 日間連続出動する。
	延出動職員数 7 3 9 名 延出動車両台数 7 5 台
	被害の概要
	死 者 39 名 重軽傷者 81 名 被災世帯 2, 665 世帯
	全壊家屋 209 戸 半壊家屋 268 戸 床上浸水 2, 149 戸
	床下浸水 2, 942 戸
11 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 3 名となる。無線移動局 1 基、携帯局 3 基を増設する。
昭和 52 年 1 月	臨時事務職員 1 名採用。

	3 月	無線携帯局 3 基を増設する。
	4 月	消防職員 1 名池田町へ、職員総数 6 2 名となる。
	6 月	消防職員 1 名内海町へ、職員総数 6 1 名となる。
昭和 53 年	4 月	消防職員 4 名採用、土庄町より 1 名、職員総数 6 6 名となる。
	5 月	土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
	7 月	異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、5 4 年 2 月中旬から全面給水となった。
	8 月	異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。(1 0 月中旬まで実施する。) 内海分署へ 2 名増員し、分署署員数 2 1 名となる。
	9 月	日本消防協会より、救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) の寄贈を受け、本署へ配置する。
昭和 54 年	3 月	内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
	7 月	小型動力ポンプ (ラビット可搬式) を購入し、内海分署へ配置する。
	10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー 1 式を 2 基購入し、本署と内海分署へ配置する。
	11 月	小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。
	12 月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和 55 年	3 月	消防職員 1 名、臨時事務職員 1 名退職し、職員総数 6 5 名となる。
	4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 6 8 名となる。
	6 月	小型動力ポンプ (ラビット可搬式) 2 台を購入し、本署と池田分署へ配置。
	8 月	消防他 3 つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員 1 名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数 6 7 名となる。
	10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー 1 式を購入し池田分署へ配置。
	11 月	油火災用特殊防火衣を 2 着購入し、本署へ配置する。 日本自動車工業会より救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急 2 号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和 56 年	4 月	消防職員 1 名退職、消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
	9 月	救助用器材 (エアツールセット) 1 式を購入し、本署へ配置する。
昭和 57 年	3 月	消防ポンプ車 (いすゞ C D—I) 1 台を購入し、本署へ配置する。 旧消防ポンプ 1 号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。 日本損害保険協会より、救急車 (日産キャラバン B—2) の寄贈を受け本署へ配置する。救急 3 号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
	4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	5 月	救助用器材 (エアツールセット) 1 式を購入し、内海分署へ配置する。
	6 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) の寄贈を受け、本署へ配置する。
	10 月	消防職員 1 名小豆島老人ホームへ、職員総数 6 8 名となる。
昭和 58 年	8 月	日本消防協会より、救助資器材搬送車 (日産アトラス) の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和 59 年	3 月	消防署に設置の救急指令装置 (D—2 0 1 E) を更新する。 消防職員 1 名土庄町へ、消防職員 1 名退職、職員総数 6 6 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
	8 月	救助用器材 (エアツールセット) 1 式を購入し、池田分署へ配置する。
	11 月	第 8 回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車 (日産キャラバン) の寄贈を受ける。

昭和 60 年 7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリ A-I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。
	消防職員 1 名退職、職員総数 66 名となる。
4 月	消防職員 1 名採用、池田町より 1 名、職員総数 68 名となる。
8 月	8 月 28 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 17 時 128 ha を焼失し、鎮火する。
	被害状況 焼損面積 128ha 損害額 7,550 万円
	死者 1 名 負傷者 7 名
	出動人員（延） 出動車両等（延）
	小豆地区消防本部 275 名 消防ポンプ自動車 77 台
	土庄町消防団 1,772 名 小型動力ポンプ付積載車 72 台
	池田町消防団（応援） 228 名 その他の車両 61 台
	内海町消防団（応援） 294 名 偵察用ヘリコプター 3 機
	高松市消防局（応援） 213 名 空中消火用ヘリコプター 8 機
	神戸市消防局（応援） 5 名
	陸上自衛隊（応援） 112 名
	合 計 2,899 名
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（62 年 2 月まで）
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、38 町、6 消防組合）
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 C D-I）を購入し、池田分署へ配置する。
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。
昭和 63 年 4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。
8 月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11 月	消防本部へ管轄区域内の 119 番を統合し、運用を開始する。
12 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱 C D-I）を購入し、本署へ配置する。
平成 元年 3 月	消防職員の高齢化対策として 2 名退職し、関係町で採用され、職員総数 67 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 70 名となる。
5 月	消防職員 1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数 69 名となる。
9 月	防災工作車を 2 台購入、内海分署（トヨタトヨエース W キャブ）、池田分署（トヨタダイナ W キャブ）へそれぞれ配置する。
10 月	消防職員 1 名退職、職員総数 68 名となる。
平成 2 年 2 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
3 月	消防本部庁舎に非常電源装置を設置する。
	消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 67 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名退職し、職員総数 68 名となる。

6 月	救助用機材（リフトバック）1 式を購入し、本署へ配置する。
12 月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成 3 年 2 月	本署の林野工作車（4 9 年式日産 F H 6 0 型）を廃車にする。
3 月	消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 6 9 名となる。
8 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱 C D - I ）を購入し、内海分署へ配置する。
平成 4 年 3 月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1 号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 0 名となる。
平成 5 年 3 月	消防職員 1 名池田町へ、消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 6 9 名となる。
10 月	日本消防協会より救急車（いすゞファエゴ 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。
平成 6 年 1 月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員 1 名派遣。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結 （香川県、県下 5 市、3 8 町、6 消防組合）
5 月	エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。
11 月	はしご付消防自動車（森田式 M L E H 5 - 3 5 R 型）を購入し本署へ配置する。
平成 7 年 6 月	消防職員 1 名逝去、職員総数 7 0 名となる。
平成 8 年 3 月	基地局に県内共通波を設置する。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 7 1 名となる。

4 月 9 日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、1 6 時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙 2 5 7 番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め 4 月 1 2 日 9 時、4 7 h a を焼失し、鎮火する。

出動人員（延）

小豆地区消防本部	196 名
土 庄 町 消 防 団	1, 172 名
池 田 町 消 防 団	300 名
内 海 町 消 防 団	350 名
高 松 市 消 防 局	9 名
香川県防災航空隊	21 名
大阪市消防局航空隊	5 名
広島市消防航空隊	6 名
島根県防災航空隊	16 名
京都市消防航空隊	6 名

出動車両等（延）

消 防 ポ ン プ 自 動 車	49 台
小型動力ポンプ付積載車	109 台
自 衛 隊 車 両	33 台
そ の 他 の 車 両	73 台
消 防 防 災 ヘ リ	7 機
自 衛 隊 ヘ リ	9 機

		陸上自衛隊	161名		
		合 計	2,242名		
平成9年	3月	日本消防協会から救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。			
	4月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
	10月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。			
平成10年	10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。			
平成11年	2月	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部） 携帯電話119番転送システムを設置する。			
		2月14日、土庄町湊崎字東丸山甲1665番地3より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し3日間燃え続け、消防職員・3町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、13haを焼失し、16日8時40分鎮火する。			
		出動人員（延）		出動車両（延）	
		小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台
		土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台
		池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台
		内海町消防団	100名	その他の車両	25台
		香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機
		高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機
		愛媛県消防防災航空隊	13名		
		兵庫県消防防災航空隊	14名		
		広島県防災航空隊	6名		
		鳥取県消防防災航空隊	7名		
		陸上自衛隊	121名		
		土庄警察署	55名		
		土庄町職員	24名		
		合 計	1,337名		
	4月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
平成12年	3月	消防本部2階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。			
	10月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。			
平成13年	3月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。			
	4月	消防職員1名採用。職員総数71名となる。			
平成14年	1月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。			
	3月	消防職員1名退職、職員総数69名となる。			
	4月	消防職員2名採用、職員総数71名となる。			
		香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
平成15年	3月	消防職員1名退職、職員総数70名となる。			
		日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。			
	4月	消防職員3名採用、職員総数73名となる。			
	10月	消防職員1名逝去、職員総数72名となる。			
平成16年	3月	消防職員1名退職、職員総数71名となる。			
		救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。			
	8月	台風16号による高潮被害。			
		内海町 床上浸水	176戸	床下浸水	350戸

	土庄町 床上浸水 523 戸	床下浸水 523 戸
	池田町 床上浸水 49 戸	床下浸水 160 戸
	合 計 床上浸水 748 戸	床下浸水 1,033 戸
平成 17 年 3 月	消防職員 1 名退職、職員総数 70 名となる。	
	消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、内海分署へ配置する。	
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 71 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
平成 18 年 3 月	内海町、池田町（2 町）が合併し、小豆島町となる。	
	消防職員 5 名退職（勸奨）、職員総数 66 名となる。	
	消防ポンプ自動車（三菱 C D - I）を購入し、池田分署へ配置する。	
4 月	消防職員 5 名採用、職員総数 71 名となる。	
8 月	消防職員 1 名退職、職員総数 70 名となる。	
平成 19 年 3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）、職員総数 69 名となる。	
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 71 名となる。	
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。	
3 月	消防職員 5 名退職（内 3 名勸奨）、職員総数 66 名となる。	
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
平成 21 年 3 月	消防職員 7 名退職（内 4 名勸奨）、職員総数 62 名となる。	
4 月	消防職員 7 名採用、職員総数 69 名となる。	
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け内海分署へ配置する。	
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）、職員総数 67 名となる。	
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 69 名となる。	
平成 23 年 3 月	消防職員 3 名退職（内 2 名勸奨）、職員総数 66 名となる。	
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
平成 24 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、本署へ配置する。	
3 月	消防職員 3 名退職、職員総数 66 名となる。	
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。	
12 月	指揮車（トヨタヴォクシー）を購入し本部へ配置する。	
平成 25 年 3 月	消防職員 6 名退職（内 3 名勸奨）、職員総数 63 名となる。	
4 月	消防職員 6 名採用、職員総数 69 名となる。	
平成 26 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 C D - 1）を購入し、内海分署へ配置する。	
3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）、職員総数 68 名となる。	
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
8 月	消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事に着手する。	
9 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署の建設工事に着手する。	
12 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。	
平成 27 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 67 名となる。	
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 69 名となる。	
10 月	小豆島防火安全協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。	
平成 28 年 3 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署落成する。	
	消防救急デジタル無線及び消防指令センター落成する。	
	池田分署の業務を終了する。	
	消防職員 1 名退職、職員総数 68 名となる。	
4 月	組織改編に伴い 2 署体制へ移行、業務を開始する。	

	消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。
7 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
8 月	査察広報車（軽四輪）を購入し、東署へ配置する。
12 月	池田港飛行場外離着陸場の整備工事に着手する。
平成 29 年 3 月	池田港飛行場外離着陸場竣工する。
	消防職員 1 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、再任用 1 名、職員総数 7 1 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（日野デュトロ）を購入し、西署へ配置する。
平成 30 年 2 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 9 名となる。
3 月	消防職員 1 名退職、再任用 1 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 8 名となる。
10 月	先端屈折式はしご車（ML L A H 5 - 3 0 W G）を購入し、西署へ配置する。
平成 31 年 3 月	大規模災害時における消防用水等に関する協定締結（県下 9 消防本部、香川県生コンクリート協同組合連合会）
4 月	消防職員 3 名採用、1 名管理者部局（広域事務局）へ部局内異動、職員総数 7 0 名となる。
令和 2 年 3 月	消防職員 3 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
令和 3 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、東署へ配置する。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 7 0 名となる。
令和 4 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 0 名となる。
令和 5 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 0 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
	西消防署豊島支所を開所し、職員 1 名を配置する。
7 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 9 名となる。
令和 6 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、西署へ配置する。
2 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 6 名となる。
4 月	消防職員 6 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ部局内異動、職員総数 7 1 名となる。
令和 7 年 1 月	消防職員 1 名退職、職員総数 7 0 名となる。
3 月	消防職員 3 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 4 名採用、再任用 1 名、職員総数 7 2 名となる。
令和 8 年 3 月	消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、東署へ配置する。
	消防職員 2 名退職、職員総数 7 0 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 7 3 名となる。

5. 主たる総務行事（令和7年）

3月27日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
4月4日	消防職員初任教育（第72期）入校式	（高松市）
4月10日	第1回香川県消防長会議	（小豆島町）
4月20日	小豆地区消防連合会定期総会及び定例表彰式	
4月23日	全国消防長会四国支部消防職員意見発表会及び総会	（徳島県）
5月22日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
5月28日	香川県消防協会定時評議員会及び第1回理事会	（高松市）
5月30日	第77回全国消防長会総会	（広島県）
5月30日	消防功労者定例表彰式	（高松市）
6月10日	小豆島中央高等学校進路ガイダンス	
7月18日	香川県消防学校教育推進協議会（第1回）	（高松市）
7月31日	小豆郡医療懇談会	
8月26日	小豆地区消防本部消防職員委員会	
9月3日	小豆地区防犯協会連合会総会	
9月13日	消防職員初任教育生消防実技訓練発表会	（高松市）
9月26日	消防職員初任教育（第72期）卒業式	（高松市）
9月30日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
10月10日	全国消防長会四国支部消防長研修会	（高松市）
10月17日	香川県下消防署長会議	（丸亀市）
10月24日	香川県消防学校教育推進協議会（第2回）	（高松市）
11月7日	第2回香川県消防長会議及び香川県消防職員意見発表会	（善通寺市）
12月15日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	

6. 歴代管理者

令和8年4月1日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	川 北 四 十 二	自 昭47. 4. 1 至 昭53. 3. 31	6 年	0 月
二 代	山 脇 利 一	自 昭53. 4. 1 至 昭55. 7. 31	2 年	4 月
一部事務組合を統合、新たに小豆地区広域行政事務組合発足				
三 代	川 北 四 十 二	自 昭55. 8. 1 至 昭56. 2. 11	0 年	6 月
四 代	山 脇 利 一	自 昭56. 2. 12 至 昭58. 3. 31	2 年	1 月
五 代	佐々木 武 雄	自 昭58. 4. 1 至 昭59. 4. 18	1 年	0 月
六 代	八 木 壮 一 郎	自 昭59. 4. 19 至 昭60. 3. 31	1 年	0 月
七 代	川 西 寿 一	自 昭60. 4. 1 至 昭62. 3. 31	2 年	0 月
八 代	山 脇 利 一	自 昭62. 4. 1 至 平 元. 3. 31	2 年	0 月
九 代	八 木 壮 一 郎	自 平 元. 4. 1 至 平 3. 3. 31	2 年	0 月
十 代	川 西 寿 一	自 平 3. 4. 1 至 平 5. 3. 31	2 年	0 月
十一代	塩 本 淳 平	自 平 5. 4. 1 至 平 7. 3. 31	2 年	0 月
十二代	八 木 壮 一 郎	自 平 7. 4. 1 至 平 9. 3. 31	2 年	0 月
十三代	川 西 寿 一	自 平 9. 4. 1 至 平 9. 5. 4	年	1 月
十四代	坂 下 一 朗	自 平 9. 5. 5 至 平11. 3. 31	1 年	1 1 月
十五代	塩 本 淳 平	自 平11. 4. 1 至 平13. 3. 31	2 年	0 月
十六代	八 木 壮 一 郎	自 平13. 4. 1 至 平15. 3. 31	2 年	0 月
十七代	坂 下 一 朗	自 平15. 4. 1 至 平17. 3. 31	2 年	0 月
十八代	三 木 佑 二 郎	自 平17. 4. 1 至 平18. 1. 21	0 年	9 月
十九代	岡 田 好 平	自 平18. 1. 22 至 平19. 3. 31	1 年	3 月
二十代	坂 下 一 朗	自 平19. 4. 1 至 平21. 3. 31	2 年	0 月

二十一代	岡 田 好 平	自 平 2 1. 4. 1 至 平 2 3. 3. 3 1	2 年	0 月
二十二代	塩 田 幸 雄	自 平 2 3. 4. 1 至 平 2 5. 3. 3 1	2 年	0 月
二十三代	岡 田 好 平	自 平 2 5. 4. 1 至 平 2 6. 1. 2 1	0 年	9 月
二十四代	三 枝 邦 彦	自 平 2 6. 1. 2 2 至 平 2 7. 3. 3 1	1 年	3 月
二十五代	塩 田 幸 雄	自 平 2 7. 4. 1 至 平 2 9. 3. 3 1	2 年	0 月
二十六代	三 枝 邦 彦	自 平 2 9. 4. 1 至 平 3 1. 3. 3 1	2 年	0 月
二十七代	松 本 篤	自 平 3 1. 4. 1 至 令 3. 3. 3 1	2 年	0 月
二十八代	三 枝 邦 彦	自 令 3. 4. 1 至 令 4. 1. 2 1	0 年	9 月
二十九代	岡 野 能 之	自 令 4. 1. 2 2 至 令 5. 3. 3 1	1 年	3 月
三十代	大 江 正 彦	自 令 5. 4. 1 至 令 7. 3. 3 1	2 年	0 月
三十一代	岡 野 能 之	自 令 7. 4. 1 至 現 在	1 年	0 月

7. 歴代消防長

令和 8 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7. 4. 1 至 昭 5 0. 3. 3 1	3 年	0 月
二 代	坂 本 傳	自 昭 5 0. 6. 1 至 昭 5 2. 5. 3 1	2 年	0 月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四 十 二	自 昭 5 2. 6. 1 至 昭 5 3. 3. 3 1	年	1 0 月
四 代	洲 本 勝	(消防長職務代理) 自 昭 5 3. 4. 1 至 昭 5 5. 3. 3 1		
		自 昭 5 5. 4. 1 至 昭 5 9. 3. 3 1	4 年	0 月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 9. 4. 1 至 昭 6 1. 3. 3 1	2 年	0 月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壮 一 郎	自 昭 6 1. 4. 1 至 昭 6 3. 3. 3 1	2 年	0 月

七 代	大 谷 隆 生	自 昭6 3. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	5年	0月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5. 4. 1 至 平 7. 6. 6	2年	2月
九 代	前 田 忠	自 平 7. 7. 1 至 平 1 5. 3. 3 1	7年	9月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平 1 5. 4. 1 至 平 1 7. 3. 3 1	2年	0月
十 一 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 7. 4. 1 至 平 2 0. 3. 3 1	3年	0月
十 二 代	浜 岡 成 俊	自 平 2 0. 4. 1 至 平 2 1. 3. 3 1	1年	0月
十 三 代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平 2 1. 4. 1 至 平 2 2. 4. 2 2	1年	1月
十 四 代	(消防長事務取扱) 岡 田 好 平	自 平 2 2. 4. 2 3 至 平 2 3. 3. 3 1		1 1月
十 五 代	真 砂 清	自 平 2 3. 4. 1 至 平 2 5. 3. 3 1	2年	0月
十 六 代	石 塚 昭 義	自 平 2 5. 4. 1 至 平 2 9. 3. 3 1	4年	0月
十 七 代	上 濱 一 弥	自 平 2 9. 4. 1 至 平 3 0. 3. 3 1	1年	0月
十 八 代	須 佐 美 高 広	自 平 3 0. 4. 1 至 令 2. 3. 3 1	2年	0月
十 九 代	八 木 勝 則	自 令 2. 4. 1 至 令 4. 3. 3 1	2年	0月
二 十 代	青 地 薫	自 令 4. 4. 1 至 令 6. 3. 3 1	2年	0月
二十一 代	西 脇 寛	自 令 6. 4. 1 至 令 8. 3. 3 1	2年	0月
二十二 代	田 村 桂 一	自 令 8. 4. 1 至 現 現 在		

8.歴代消防署長

令和8年4月1日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数
初 代	清 水 勝	自 昭4 7. 4. 1 至 昭4 9. 3. 3 1	2年 0月

二 代	役 重 正 則	自 昭4 9. 4. 1 至 昭5 6. 4. 1 4	7 年	1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭5 6. 5. 1 至 昭6 1. 3. 3 1	4 年	1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭6 1. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	7 年	0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5. 4. 1 至 平 8. 3. 3 1	3 年	0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8. 4. 1 至 平1 4. 3. 1	6 年	0 月
七 代	森 三 郎	自 平1 4. 4. 1 至 平1 5. 1 1. 3 0	1 年	8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平1 5. 1 2. 1 至 平1 6. 3. 3 1		4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平1 6. 4. 1 至 平1 7. 3. 3 1	1 年	0 月
十 代	中 川 博 行	自 平1 7. 4. 1 至 平2 0. 3. 3 1	3 年	0 月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平2 0. 4. 1 至 平2 1. 3. 3 1	1 年	0 月
十 二 代	真 砂 清	自 平2 1. 4. 1 至 平2 3. 3. 3 1	2 年	0 月
十 三 代	浜 脇 繁 美	自 平2 3. 4. 1 至 平2 4. 3. 3 1	1 年	0 月
十 四 代	石 塚 昭 義	自 平2 4. 4. 1 至 平2 5. 3. 3 1	1 年	0 月
十 五 代	須 佐 美 高 広	自 平2 5. 4. 1 至 平2 8. 3. 3 1	3 年	0 月

歴代西消防署長

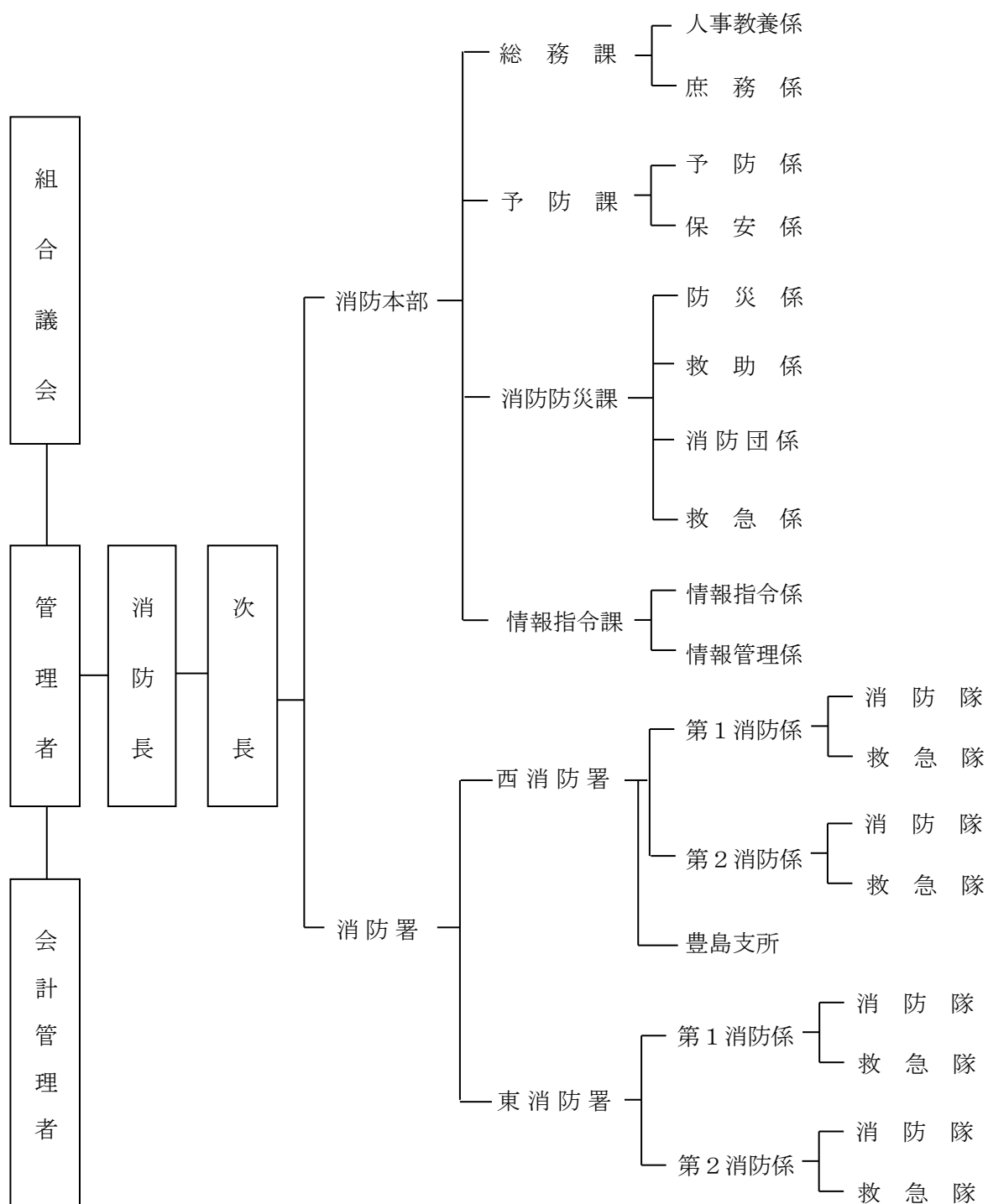
年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	須 佐 美 高 広	自 平2 8. 4. 1 至 平3 0. 3. 3 1	2 年	0 月
二 代	青 地 薫	自 平3 0. 4. 1 至 令 3. 3. 3 1	3 年	0 月
三 代	田 村 桂 一	自 令 3. 4. 1 至 令 8. 3. 3 1	5 年	0 月
四 代	川 元 仁	自 令 8. 4. 1 至 現 在		

歴代東消防署長

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	木 下 昌 樹	自 平2 8. 4. 1 至 平3 1. 3. 3 1	3 年	0 月
二 代	炭 野 義 一	自 平3 1. 4. 1 至 令 4. 3. 3 1	3 年	0 月

三 代	川 元 仁	自 令 4. 4. 1 至 令 8. 3. 3 1	4 年	0 月
四 代	岡 本 清 文	自 令 8. 4. 1 至 現 在		

9. 消防の組織・機構



10. 事務分掌

総務課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶務係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課、係の所管に属さない事項

予防課

予防係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保安係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防 災 係

- (1) 防災計画に関する事項
- (2) 防災対策に関する事項
- (3) 防災演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 各町の地域防災計画に関する事項
- (6) 消防水利に関する事項
- (7) 災害報告に関する事項
- (8) 前各号のほか、防災業務に関する事項

救 助 係

- (1) 救助計画に関する事項
- (2) 前号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

- (1) 消防団計画に関する事項
- (2) 前号のほか、消防団業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

- (1) 通信指令に関する事項
- (2) 前号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

- (1) 個人情報の管理に関する事項
- (2) 前号のほか、情報管理に関する事項

1 1. 管内面積及び人口・世帯数

令和8年4月1日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.24	5,689	6,325	12,014	6,377
小 豆 島 町	95.69	6,091	6,587	12,678	6,658
合 計	169.93	11,780	12,912	24,692	13,035

(住民基本台帳による)

1 2. 消防庁舎の現状

区 分 署所別	所 在 地	構 造	建築延面積	竣工年月日
消防本部 兼西消防署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 10	鉄筋コンクリート 4 階 建	2,482.3 m ²	H27. 12. 28
東消防署	香川県小豆郡小豆島町 安田甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 4 階 建	951.9 m ²	H27. 12. 28

1 3. 職員の勤務年数

令和8年4月1日現在

階 級 別 年 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
1 年 未 満						3	3
1 年 ～ 2 年未満						4	4
2 年 ～ 3 年未満						6	6
3 年 ～ 4 年未満						2	2
4 年 ～ 5 年未満						2	2
5 年 ～ 10 年未満					4	3	7
10 年 ～ 15 年未満				4	7		11
15 年 ～ 20 年未満			1	14			15
20 年 ～ 25 年未満			6	4			10
25 年 ～ 30 年未満							
30 年 以 上	1	11	1				13
合 計	1	11	8	22	11	20	73
平 均	37.0	35.1	23.3	16.6	10.5	2.4	15.6

14. 職員の年齢

令和8年4月1日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18才～20才						3	3
21才～25才						13	13
26才～30才					4	3	7
31才～35才				3	6	1	10
36才～40才				16	1		17
41才～45才			5	3			8
46才～50才			3				3
51才～55才		8					8
56才～60才	1	3					4
61才～65才							
合計	1	11	8	22	11	20	73
平均年齢	59.0	54.5	44.4	37.8	31.2	22.5	36.4

15. 職員の配置状況

令和8年4月1日現在

階級別 署所別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	1	7	5	12	4	13	42
西消防署		2(1)	(5)	(12)	(4)	(10)	2(32)
東消防署		2	3	10	6	7	28
県防災航空隊					1		1
合計	1	11	8	22	11	20	73

(※ () 内は兼務)

16. 消防力の現勢

令和8年4月1日現在

署所・人員

	現 有 数
署 所 数	2
指 揮 隊 員	9
消 防 隊 員	32
救 急 隊 員	20
救 助 隊 員	0（兼務20）
通 信 要 員	5
予 防 要 員	2（兼務17）
庶務処理等の要員	5

車両

		現 有 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車		4
は し ご 自 動 車		1
救助工作車（省令第4条）		1
高 規 格 救 急 車		4
特 殊 車 等	指 揮 車	1
	査 察 広 報 車	2
	小型ポンプ付水槽車	1
	そ の 他 の 車 両	4

	基 準 数	現 有 数	充 足 率
消 防 水 利	898	457	50.9

17. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

令和8年4月1日現在

区 分 種 別	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k m ²)
消 防 職 員 1 人 当 り	338	179	2.3
消防ポンプ自動車1台当り	6,173	3,259	42.5
救 急 車 1 台 当 り	6,173	3,259	42.5
署 1 ケ 所 当 り	12,346	6,518	85.0

18. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	令和7年度予算額	令和8年度予算額
1. 分担金及び負担金	798,844	743,611
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金	15,959	0
4. 県支出金	0	0
5. 財産収入	0	0
6. 寄付金	0	0
7. 繰越金	0	0
8. 諸収入	0	0
9. 組合債	0	0
合 計	814,903	743,711

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和7年度予算額	令和8年度予算額
1. 総務費	559,590	602,382
2. 予防費	1,025	1,042
3. 警防費	6,851	53,423
4. 救急費	10,317	10,467
5. 通信費	28,927	28,721
6. 施設費	59,391	0
7. 公債費	148,802	47,676
合 計	814,903	743,711

19. 令和8年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土 庄 町	小豆島町	合 計
一般会計予算額	10,093,000	13,669,000	23,762,000
消防費予算額	403,643	457,327	860,970
常備消防費	345,254	398,357	743,611
非常備消防費	41,512	38,400	79,912
消防施設費	0	15,140	15,140
水防費	2,400	5,427	7,827
災害対策費	14,477	3	14,480
一般会計と消防費の比(%)	4.0	3.3	3.6
住民1人当りの消防費用(円)	33,598	36,072	69,670
一世帯当たりの消防費用(円)	63,297	68,688	131,985

20. 消防費基準財政需要額及び町負担金(予算額)

(単位：千円)

町 別	令和7年度消防費基準財政需要額	令和8年度町負担金
土 庄 町	298,312	345,254
小 豆 島 町	351,091	398,357
合 計	649,403	743,611

2 1 . 職員特殊技能資格取得状況

令和8年4月1日現在

種 別 \ 階 級 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自動車 運転 免 許	大型	0	7	5	19	4	2	37
	中型（11t未満）				1			1
	中型（8t限定）	1	4	3	2			10
	準中型（7.5t未満）					3	17	20
	準中型（5t限定）					4	1	5
	普通							
クレーン・玉掛け・巻き上げ機 （クレーン・玉掛け）			4 (2)	4	15	2	1	26 (2)
消防用設備点検資格者 第1種・第2種			1					1
消防設備士 免		1	4	1	9	2		17
危険物取扱者 免		1	5	5	21	4	5	41
予防技術検定			4	4	13	2		23
第2級陸上特殊士 無線			8	5	16	2		31
第3級陸上特殊士 無線			1				9	10
有機溶剤作業主任者					1			1
小型船舶操縦士 2級免		1	6	3	6	1	2	19
救急救命士		1	3	4	7	6	5	26
応急救導員		1	10	8	22	11	15	67
石油機器技術管理士			1					1
第Ⅱ種酸素欠乏者 危険作業主			6	5	18	5	2	36
潜水士		1	2	2	10	5	2	22
特定化学物質等 作業者主			1					1

2 2. 職員教養状況調

令和8年4月1日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
消防 大学 校	救 助 科		1					1
	予 防 科		1					1
	救 急 科				1			1
	火 災 調 査 科				1			1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	1 1	8	2 2	1 1	2 0	7 3
	初 級 幹 部 科		3	2	1			6
	中 級 幹 部 科	1	3					4
	上 級 幹 部 科		2					2
	予 防 査 察 科		2	2	8	3		1 5
	危 険 物 科		3	1	5	3	1	1 3
	火 災 調 査 科		4	3	8		1	1 6
	特 殊 災 害 科		2	4	6			1 2
	警 防 科		4	3	7	1		1 5
	救 急 科	1	1 1	8	2 1	7	1 3	6 1
	救 助 科		6	5	1 8	7	2	3 8
そ の 他	救 急 救 命 士	1	3	4	7	6	5	2 6

2 3. 職員居住地調

令和8年4月1日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
土 庄 町		1	6	6	1 3	3	1 2	4 1
小 豆 島 町			5	2	9	7	7	3 0
合 計		1	1 1	8	2 2	1 0	1 9	7 1

24. 職員任用退職状況調

令和8年4月1日現在

年 度	区 分	新 任	退 職	転 入 出		職 員 総 数
				入	出	
平成 8 年		2	1	1	2	7 1
平成 9 年						7 1
平成 1 0 年						7 1
平成 1 1 年						7 1
平成 1 2 年						7 1
平成 1 3 年		1	1			7 1
平成 1 4 年		2	2			7 1
平成 1 5 年		3	1			7 3
平成 1 6 年			2			7 1
平成 1 7 年		1	1			7 1
平成 1 8 年		5	5			7 1
平成 1 9 年		2	2			7 1
平成 2 0 年		3	5			6 9
平成 2 1 年		7	7			6 9
平成 2 2 年		2	2			6 9
平成 2 3 年		3	3			6 9
平成 2 4 年		3	3			6 9
平成 2 5 年		6	6			6 9
平成 2 6 年		1	1			6 9
平成 2 7 年		2	2			6 9
平成 2 8 年		1	1			6 9
平成 2 9 年		3	2	1(再任用)		7 1
平成 3 0 年		1	3		1(再任用)	6 8
令和 元 年		3			1(部局内異動)	7 0
令和 2 年		2	3			6 9
令和 3 年		1				7 0
令和 4 年		2	2			7 0
令和 5 年		2	2			7 0
令和 6 年		6	4		1(部局内異動)	7 1
令和 7 年		4	4	1(再任用)		7 2
令和 8 年		3	2			7 3

25. 職員の推移

令和8年4月1日現在

階級別 年度別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	再 任 用	合 計
平成9年	1	4	3	22	22	11	8		71
平成10年	1	4	3	27	18	13	5		71
平成11年	1	4	3	28	19	12	4		71
平成12年	1	5	4	30	16	12	3		71
平成13年	1	4	4	32	15	12	3		71
平成14年	1	3	5	32	15	11	4		71
平成15年		3	9	29	15	12	5		73
平成16年		2	9	29	17	9	5		71
平成17年	1	2	8	30	16	8	6		71
平成18年	1	5	3	29	17	5	11		71
平成19年	1	5	6	27	15	6	11		71
平成20年	1	3	7	25	14	7	12		69
平成21年		2	5	23	14	6	19		69
平成22年		2	9	21	10	7	20		69
平成23年		1	13	15	12	6	22		69
平成24年		1	13	15	11	9	20		69
平成25年		1	7	15	11	10	25		69
平成26年		1	8	14	12	9	25		69
平成27年		1	9	14	9	14	22		69
平成28年		1	8	16	8	19	17		69
平成29年		1	9	15	9	18	18	1	71
平成30年		1	9	14	13	17	14		68
令和元年		1	11	13	16	13	16		70
令和2年		1	9	13	16	18	12		69
令和3年		1	10	14	15	17	13		70
令和4年		1	11	13	20	12	13		70
令和5年		1	11	12	20	14	12		70
令和6年		1	11	9	22	13	15		71
令和7年		1	11	7	24	10	18	1	72
令和8年		1	11	8	22	11	20		73

防 予



1. 防火対象物現況表（150㎡以上）

令和8年4月1日現在（単位：棟）

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	29	27	25	24	54	51
(2)	イ	キャバレー・カフェー等						
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1			1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	8	3	6	6	14	9
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	24	17	15	15	39	32
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	47	23	38	19	85	42
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	73	2	102	9	175	11
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	8	1	11	4	19	5
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	11	11	12	10	23	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	12	8	11	7	23	15
	ニ	幼稚園・養護学校等			5	4	5	4
(7)		小・中・高・大学各種学校	10	8	17	7	27	15
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	4	3	13	8	17	11
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	2		5		7	
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	30	8	22	9	52	17
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	155	24	189	7	344	31
	ロ	映画・テレビスタジオ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	17	1	5		22	1
(14)		倉 庫	68	3	83		151	3
(15)		前各項に該当しない事業場	68	20	57	22	125	42
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	54	27	73	43	127	70
	ロ	イ以外の複合用途対象物	21	1	16	1	37	2
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	2		2		4	
合 計			644	188	708	195	1,352	383

2. 防火管理者選任届状況

令和8年4月1日現在（単位：棟）

項目	町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
	防火対象物区分				
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	19	21	40
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー 等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	1		1
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	3	4	7
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	13	9	22
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	22	19	41
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等	5		5
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	1	4	5
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	11	10	21
	ハ	老 人 デ イ サービス セ ン タ ー 等	10	7	17
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等		4	4
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	3	7	10
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	3	7	10
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等	1		1
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	8	3	11
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	3		3
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫	3		3
(15)		前各項に該当しない事業場	22	16	38
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	14	33	47
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物	2	1	3
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			144	145	289

3. 建築同意事務処理状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

項 目		町 別	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
		防火対象物区分	件数	件数	件数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場			
(2)	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場又はダンスホール			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店		1	1
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	1	2	3
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	5	1	6
	ロ	共同住宅・寄宿舍等	3		3
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等			
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等			
	ハ	老人デイサービスセンター等	1		1
	ニ	幼稚園・養護学校等			
(7)		小・中・高・大学各種学校		2	2
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等			
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等			
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会			
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場		2	2
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫	2	1	3
(15)		前各項に該当しない事業場	4	4	8
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物			
	ロ	イ以外の複合用途対象物		1	1
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
そ の 他					
住 宅				1	1
合 計			16	15	31

4. 危険物施設の現況

令和8年4月1日現在

種 別 \ 町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
製 造 所		0	3	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3	11	14
	屋 外 貯 蔵 所	0	2	2
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	0	0	0
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	20	22	42
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	18	13	31
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	17	15	32
	小 計	59	64	123
取 扱 所	給 油 取 扱 所	22	14	36
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0
	一 般 取 扱 所	12	11	23
	小 計	37	26	63
合 計		96	93	189

5. 危険物施設の許認可状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分 \ 種 別		設 置 許 可	変 更 許 可	(完 成 検 査)	(完 成 検 査)	承 仮 使 用 認 可	仮 取 扱 認 可	仮 貯 蔵 及 び	選 保 安 任 監 督 者 届	解 保 安 任 監 督 者 届	廃 止 届	合 計
製 造 所												
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所											
	屋 外 貯 蔵 所						1					1
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所											
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		1		1	1						3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		1		1				1	1	1	5
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所											
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		2		2						2	6
	小 計		4		4	1	1		1	1	3	15
取 扱 所	給 油 取 扱 所		3		3	3			2	2		13
	第 1 種 販 売 取 扱 所											
	第 2 種 販 売 取 扱 所											
	一 般 取 扱 所											
	小 計		3		3	3			2	2		13
合 計			7		7	4	1		3	3	3	28

6. 各種届出事務処理状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

種 別 \ 町 別	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
工事整備対象設備等着工届	12	13	25
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	47	80	127
消防用設備等点検結果報告	196	192	388
防火対象物使用開始届	20	34	54
防火管理者選任（解任）届	19	32	51
消防計画書作成（変更）届	29	40	69
消火・避難訓練実施届	87	107	194
り 災 証 明	3	5	8
ボ イ ラ ー 設 置 届	0	0	0
乾 燥 設 備 設 置 届	1	1	2
発電変電蓄電池設備設置届	4	4	8
火災とまぎらわしい行為の届	26	43	69
煙火打ち上げ・仕掛届	5	10	15
催 物 開 催 届	0	0	0
露 店 の 開 設 届	21	37	58
少量危険物貯蔵取扱届	9	6	15
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	4	2	6
液化石油ガス設備工事届	1	3	4
旅館等適合通知書交付申請	18	20	38
合 計	502	629	1131

7. 中高層建築物(4階以上)の現況表

令和8年4月1日現在

項 目	町 別		土 庄 町						小 豆 島 町								合 計							
	階 別	対 象 物	四	五	六	七	八	小	四	五	六	七	八	十	十三	小	四	五	六	七	八	十	十三	合
			階	階	階	階	階	計	階	階	階	階	階	階	階	計	階	階	階	階	階	階	階	計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等																						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	1					1									1							1
(2)	イ	キャバレー・カフェー等																						
	ロ	遊技場又はダンスホール																						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																						
	ニ	カラオケボックス等																						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店																						
	ロ	飲 食 店																						
(4)		百貨店・マーケット・店舗等																						
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	3	3			1	7					2	1	1	4	3	3			3	1	1	11
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	6	3	1	1		11	14	16	1					31	20	19	2	1				42
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等								1	1	1				3		1	1	1				3
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等		1				1	1							1	1	1						2
	ハ	老人デイサービスセンター等	1					1	1							1	2							2
	ニ	幼稚園・養護学校等																						
(7)		小・中・高・大学各種学校	1					1	1							1	2							2
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等																						
(9)	イ	サ ウ ナ 等																						
	ロ	公 衆 浴 場																						
(10)		停 車 場 等																						
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		1				1										1						1
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	1					1	2	2						4	3	2						5
	ロ	映画・テレビスタジオ																						
(13)		自動車車庫・駐車場																						
(14)		倉 庫																						
(15)		前各項に該当しない事業場	3	1				4	4							4	7	1						8
(16)	イ	複合・特定防火対象物	3	1				4	1			1				2	4	1		1				6
	ロ	イ以外の複合用途対象物	4					4	1	1						2	5	1						6
(17)		重要文化財建造物等																						
合 計			23	10	1	1	1	36	25	20	2	2	2	1	1	53	48	30	3	3	3	1	1	89

消 防 防 災



1. 主たる警防行事（令和7年）

2月 4日	第3回県下警防技術指導会	(高松市)
7月11日	令和7年度 香川地区大量排出油等防除協議会定例会議	(高松市)
7月25日	第53回消防救助技術四国地区指導会	(徳島県)
8月29日	第53回全国消防救助技術大会	(兵庫県)
10月 3日	令和7年度 県下警防救助事務担当者会議	(多度津町)
10月17日	令和7年度 県下主管課長会議・緊急消防援助隊に関する主管課長会	(高松市)
10月22日	令和7年度 緊急消防援助隊香川県大隊実動訓練	(高松市)
10月23日	令和7年度 香川県石油コンビナート総合防災訓練	(高松市)
11月 1日	令和7年度 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練	(鳥取県)
12月13日	令和7年度 徳島地区出張特別試験・潜水士	(徳島県)

2. 主たる救急行事（令和7年）

2月12日	令和6年度 第3回香川県下指導救命士救急業務検討部会	(Web)
2月28日	令和6年度 第3回香川県MC協議会検討部会	(Web)
3月18日	令和6年度 香川県メディカルコントロール協議会	(Web)
3月26日	令和6年度 事後検証症例発表会	(Web)
5月30～31日	第41回日本救急医学会中国四国地方会	(島根県)
8月 7日	初期救急医療に係る連絡・意見交換会	(Web)
8月 8日	令和7年度 救急事務担当者会議	(観音寺市)
9月 9日	令和7年度 第1回香川県下指導救命士救急業務検討部会	(Web)
10月 2日	令和7年度 第2回事後検証会議	(Web)
10月 8日	令和7年度 第1回香川県MC協議会検討部会	(Web)
11月 6日	令和7年度 第2回香川県下指導救命士救急業務検討部会	(Web)
12月11日	令和7年度 第3回事後検証会議	(Web)
12月21日	香川県児童虐待防止医療ネットワーク事業 第3回研修会	(高松市)

3. 消防車両等配置状況

令和8年4月1日現在

	名 称	種 別	メーカー	登 録 年 月 日	備 考
西 署	指 揮 車	指揮車	ト ヨ タ	平成24年12月13日	
	ポ ン プ 1 号 車	消防ポンプ車CD-1	三 菱	平成18年 3月27日	水槽 700ℓ
	ポ ン プ 2 号 車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成24年 2月28日	水槽 600ℓ CAFS 装置付き
	ポ ン プ 3 号 車	水槽車 小型動力ポンプB-2	日 野	平成29年12月14日	水槽2,500ℓ
	は し ご 車	先端屈折式はしご車 30m級	日 野	平成30年10月22日	
	救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	日 野	平成16年 3月19日	
	防 災 工 作 1 号 車	積載車	三 菱	平成22年 9月22日	
	救 急 1 号 車	高規格救急車	ト ヨ タ	令和 6年 1月10日	
	救 急 2 号 車	高規格救急車	ト ヨ タ	平成26年12月16日	
	査 察 広 報 1 号 車	査察車	三 菱	平成22年 8月24日	
	防 火 広 報 車	広報車	ス ズ キ	平成27年10月30日	
	豊 島 支 援 車	支援車	ホ ン ダ	令和 5年 2月17日	
東 署	ポ ン プ 4 号 車	消防ポンプ車CD-1	日 野	令和 8年 3月 2日	水槽 600ℓ
	ポ ン プ 5 号 車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成26年 2月24日	水槽 600ℓ CAFS 装置付き
	防 災 工 作 2 号 車	積載車	三 菱	平成23年 9月28日	
	救 急 3 号 車	高規格救急車	ト ヨ タ	令和 3年 1月12日	
	救 急 4 号 車	高規格救急車	ト ヨ タ	平成21年11月27日	
	査 察 広 報 2 号 車	査察車	ダイハツ	平成28年 8月31日	

4. 主な機械器具の配置状況

令和8年4月1日現在

器 具 別		署 所 別	西 署	東 署	合 計
放 水 器 具	消防用ホース 6 5 mm		144	138	282
	消防用ホース 5 0 mm		116	112	228
	小型動力ポンプ B-3級		1	1	2
	小型動力ポンプ C-1級		1	-	1
	手引ホースカー		2	2	4
	フォグガン		3	1	4
	無反動ノズル		-	2	2
	フォグエックス		-	1	1
	ボアテックスノズル		1	1	2
	放水銃		2	1	3
	集水器		6	3	9
	低発砲ノズル 8 0 0 ℓ型		2	1	3
	低発砲ノズル 4 0 0 ℓ型		3	1	4
	低発砲ノズル 2 0 0 ℓ型		1	3	4
	ユニット式プロポーショナー		1	1	2
	ラインプロポーショナー		2	1	3
	ピックアップ式泡ノズル		2	1	3
	フォームジェット		-	1	1
	ウォーターチャージャー		-	1	1
	背負式ポンプ		5	11	16
	簡易水槽		1	1	2
一般救助用器具	かぎ付はしご		5	3	8
	三連はしご		2	2	4
	救命索発射銃		1	2	3
	サバイバースリング又は救助用縛帯		7	4	11
	ロープ高所作業資器材		1	1	2
重量物排除用器具	油圧ジャッキ		1	1	2
	油圧スプレッダー		1	0	1
	可搬ウィンチ		2	2	4
	マット型空気ジャッキ		1	1	2
	大型油圧スプレッダー		1	0	1
切 断 用 器 具	エンジンカッター		2	2	4
	酸素溶断器		1	-	1
	チェンソー		2	1	3
	鉄線カッター		4	10	14
	大型油圧切断機		1	0	1
	空気切断機		2	1	3
	充電池駆動モーター付き油圧救助器具		-	1	1
	レシプロソー			1	1
破 壊 用 器 具	万能斧		2	6	8
	削岩機		1	1	2

	ハンマードリル	2	1	3
	ハリガン	1	1	2

測定用器具	複合ガス検知器	1	1	2
	熱画像直視装置	1	2	3
呼吸保護用器具	空気呼吸器	22	8	30
	予備ボンベ	17	8	25
	防塵マスク	22	30	52
	送排風機	1	－	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	2	4
	耐電一式（上衣・下衣・長靴）	3	3	6
	耐電手袋	9	8	17
	防塵メガネ	22	26	48
	フルボディーハーネス	6	7	13
	ショックアブソーバー	6	7	13
	オートロール	5	5	10
	ムーニングカラー	5	5	10
水難救助用器具	下肢切断防止用保護衣	1	1	2
	救命胴衣	22	25	47
	流水救助用救命胴衣	3	3	6
	救命浮環	3	11	14
	救命ボート	3	3	6
	船外機	1	－	1
	ウェットスーツ	4	3	7
	ドライスーツ	3	－	3
	人形	1	－	1
	潜水器具一式	3	－	3
	スローバッグ	1	1	2
	レスキューボード	1	1	2
山岳救助用器具	防災ウェーダー	3	3	6
	バスケット型担架	2	2	4
その他の救助用器具	投光器	5	3	8
	携帯拡声器	7	4	11
	緩降機	1	－	1
	発電機	5	6	11
その他の器具	空気充填機	1	－	1
	モッコ	1	－	1
救急器具	携帯用酸素吸入器	3	2	5
	自動体外式除細動器	3	2	5
	自動式心臓マッサージ器	2	2	4
	半自動式除細動器	1	－	1
	患者監視モニター	2	2	4
	集団災害用資器材	1	1	2
	殺菌消毒器	3	2	5
	全身固定具	4	3	7
	応急処置用セット	1	1	2

5. 消火薬剤の備蓄状況

令和8年4月1日現在

署 所 別 薬剤種別	西 署	東 署	合 計
合成界面活性剤 泡消火薬剤	1,700ℓ	888ℓ	2,588ℓ

6. 消防水利の現況

令和8年4月1日現在

町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
種 別				
防 火 水 槽	4 0 m ³ 以 上	53	95	148
	4 0 m ³ 未 満	8	4	12
消 火 栓	1 5 0 mm 以 上	79	135	214
	1 5 0 mm 未 満	562	354	916
そ の 他	プ ー ル	4	5	9
	池	41	42	83
	海	37	56	93
	井 戸	13	16	29
合 計		797	707	1,504

7. 防災関係届出事務処理状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

署 所 別 種 別	西 署	東 署	合 計
消防活動に支障をおよぼす 恐れのある道路占用届出	14	39	53

8. 災害別出動状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別 区分	火 災		救 助		救急支援		危険物の 排除		誤報 偵察等		風水害等		その他		合 計	
災 害 件 数	13 件		24 件		249 件		9 件		16 件		0 件		4 件		315 件	
出 動 内 訳	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
西 署	5	105	17	175	210	789	3	12	5	30	0	0	4	46	244	1157
東 署	8	71	7	121	39	150	6	28	11	45	0	0	0	0	71	415
合 計	13	176	24	296	249	939	9	40	16	75	0	0	4	46	315	1572

9. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

講習種別	実施回数	対象延べ人数
普通救命講習Ⅰ	13	75
普通救命講習Ⅱ	32	152
普通救命講習Ⅲ	1	3
上級救命講習	0	0
合計	46	230

(2) 救急講習会実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

実施回数	対象延べ人数
40	617

情報指令



圖系統



2. 通信施設状況
小豆島西消防署

令和8年4月1日現在

設置場所	局 種	識 別 信 号	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	有 効 期 間
ポンプ1号車	移 動 局 (車両)	しょうず しょうぼう にし 1	5w	○	○	○	○	○	○			○	令 和 13 年 5 月 31 日
ポンプ2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
ポンプ3号車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作1号車	〃	〃 6	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部軽四積載車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部指揮車	〃	〃 9	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指 揮 車	〃	〃 10	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
は し ご 車	〃	〃 11	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
救 助 工 作 車	〃	〃 12	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防 火 広 報 車	〃	〃 13	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報1号車	〃	〃 14	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車(後部)	〃	〃 16	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
通信指令室(予備)	〃	〃 17	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
消防救助車1号車	〃	しょうず きゅうきゅう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
消防救助車2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
西 署	移 動 局 (携帯)	しょうず しょうぼう にし 100	1w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 101	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 102	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 103	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 108	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 109	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 110	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 111	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 112	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 113	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 114	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 120	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 130	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう にし 121	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 122	〃	○	○	○	○	○	○				〃
豊 島 支 所	〃	しょうず しょうぼう にし 117	〃	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局 種	識 別 信 号	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	有 効 期 間
西 署	移動局 (携帯)	しょうず しょうぼう 1	1w							○	○		令和 13 年 5 月 31 日
〃	〃	〃 2	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 3	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 4	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 5	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 6	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 7	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 8	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 9	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 10	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 11	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 12	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 13	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 14	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 15	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 16	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 17	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 18	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 19	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 20	〃							○	○		〃
豊島支所	〃	〃 32	〃							○	○		〃
西 署	移動局 (可搬)	しょうず かはん にし 1	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	移動局 (卓上)	しょうず たくじょう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○				〃

小豆島東消防署

令和 8 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	識 別 信 号	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	有 効 期 間
ポンプ 4 号車	移動局 (車両)	しょうず しょうぼう ひがし 4	5w	○	○	○	○	○	○			○	令和 13 年 5 月 31 日
ポンプ 5 号車	〃	〃 5	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作 2 号車	〃	〃 7	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報 2 号車	〃	〃 15	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 3 号車	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 4 号車	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃

設置場所	局 種	識 別 信 号	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	有 効 期 間
東 署	移動局 (携帯)	しょうず しょうぼう ひがし 104	1w	○	○	○	○	○	○				令和 13 年 5 月 31 日
〃	〃	〃 105	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 107	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 115	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 116	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 140	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 150	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 123	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 124	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず しょうぼう 21	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 22	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 23	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 24	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 25	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 26	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 27	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 28	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 29	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 30	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 31	〃							○	○		〃
〃	移動局 (可搬)	しょうず かはん ひがし 2	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	移動局 (卓上)	しょうず たくじょう ひがし 2	〃	○	○	○	○	○	○				〃

基地局

令和 8 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	識 別 信 号	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	有 効 期 間
土庄基地局	基地局	しょうずしょうぼうとのしょう	10w	○	○	○	○	○	○				令和 13 年 5 月 31 日
内海基地局	〃	しょうずしょうぼううちのみ	〃	○	○	○	○	○	○				〃
田井基地局	〃	しょうずしょうぼうたい	〃	○	○	○	○	○	○				〃
福田基地局	〃	しょうずしょうぼうふくだ	〃	○	○	○	○	○	○				〃

3. 119番受信状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分 月別	火 災	救 急	救 助	その他	問い合わせ	誤 報	いたずら	訓 練 試 験	合 計
1 月	2	120	1	14	6	4	0	19	166
2 月	0	98	0	19	5	4	0	21	147
3 月	1	88	1	14	7	4	5	32	152
4 月	2	94	1	18	6	6	0	29	156
5 月	0	99	1	17	13	7	0	25	162
6 月	5	97	0	15	5	23	1	26	172
7 月	0	100	1	20	12	5	1	29	168
8 月	1	124	2	29	12	8	0	10	186
9 月	2	90	2	22	6	5	0	38	165
10 月	2	93	1	22	9	8	0	30	165
11 月	5	110	3	14	6	13	0	41	192
12 月	1	131	1	14	7	3	2	20	179
合 計	21	1,244	14	218	94	90	9	320	2,010

4. 気象状況（観測地：消防本部 ※データは参考値）

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分 月別	気温(℃)		湿度(%)		最多 風向	平均 風速 (m/s)	降雨 日数	降雨量 (mm)
	最高	最低	最高	最低				
1 月	13.9	-0.8	96.6	35.8	西	3.4	3	4.5
2 月	14.8	-2.0	97.2	24.4	西	3.8	2	7.0
3 月	25.7	1.0	97.7	12.2	西	2.5	10	59.5
4 月	25.7	4.9	97.5	14.1	西	2.3	8	16.5
5 月	30.0	10.3	97.5	21.9	西	2.8	9	59.0
6 月	36.2	16.7	98.0	24.1	西	1.7	8	96.5
7 月	38.2	24.6	97.5	34.9	東	2.8	3	22.5
8 月	38.5	24.5	97.5	39.9	北東	1.6	5	48.5
9 月	38.1	19.8	97.4	39.1	北東	2.2	11	93.5
10 月	30.5	10.8	97.4	38.6	北東	2.3	9	18.0
11 月	21.9	7.6	97.2	39.1	北東	2.6	2	5.0
12 月	19.7	0.1	97.7	39.4	西	2.9	4	9.0
合 計							74	439.5

5. 気象情報発表回数

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種 別 \ 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
特別警報	暴風特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	暴風警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	洪水警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注意報	風雪注意報	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	強風注意報	4	6	6	5	4	2	3	-	2	2	2	4	40
	大雨注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	大雪注意報	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	高潮注意報	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	-	6
	波浪注意報	3	6	6	5	4	2	3	-	2	2	2	4	39
	洪水注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	着雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	乾燥注意報	5	5	2	4	4	2	-	2	-	-	-	2	26
	濃霧注意報	-	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	2	8
	霜 注意報	-	1	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	なだれ注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	融雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	低温注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	着氷注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	雷 注意報	1	2	4	4	6	6	14	16	10	6	2	2	73
	小 計	15	26	31	21	19	13	24	18	16	10	7	14	214
火災気象通報		9	11	8	9	8	4	3	2	2	2	2	6	66
合 計		24	37	39	30	27	17	27	20	18	12	9	20	280

火災統計



火 災 統 計

1. 火災発生状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区 分		町 別	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年
全 火 災		件 数	4	5	6	6	10	11
		損害額 千円	7,319	11,572	31,120	10,477	38,439	22,049
火 災 種 別	建 物	件 数	2	4	5	4	7	8
		焼損床面積 m ²	28	330	496	195	524	525
		焼損表面積 m ²	2	18	19	4	21	22
		損 害 額 千 円	6,494	11,570	31,074	10,462	37,568	22,032
	林 野	件 数						
		焼 損 面 積 a						
		損 害 額 千 円						
	車 両	件 数	1				1	
		損 害 額 千 円	809				809	
	船 舶	件 数	1		1		2	
		損 害 額 千 円	16		46		62	
	航空機	件 数						
		損 害 額 千 円						
	その他	件 数		1		2		3
		焼 損 面 積 a						
		損 害 額 千円		2		15		17
り 災 世 帯 数			2	3	3	2	5	5
り 災 者 数 (人)			2	3	5	3	7	6
死 者 (人)				1		1		2
負 傷 者 (人)				1	2	1	2	2
出火率（1万人あたり）（件）			3.5	4.4	4.8	4.9	4.2	4.7

2. 時間別火災状況

区 分 時間別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積					
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 ^a	そ の 他 ^a	船 舶	航 空 機
								床面積 ㎡	表面積 ㎡				
0 時～ 1 時	1	1											
1 ～ 2													
2 ～ 3													
3 ～ 4													
4 ～ 5													
5 ～ 6	1	1						85	1				
6 ～ 7													
7 ～ 8													
8 ～ 9													
9 ～ 10	1						1						
10 ～ 11													
11 ～ 12													
12 ～ 13													
13 ～ 14	1	1						12					
14 ～ 15													
15 ～ 16	1	1						110	3				
16 ～ 17	2	1					1	80					
17 ～ 18	1	1											
18 ～ 19	1	1						44	10				
19 ～ 20	1	1						194	8				
20 ～ 21													
21 ～ 22	1						1						
22 ～ 23													
23 ～ 24													
不 明													
合 計	11	8					3	525	22				

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
月	1							1					2
火				2									2
水						1							1
木	1		1								1		3
金						1				1			2
土													
日										1			1
不 明													
合 計	2		1	2		2		1		2	1		11

救 急 統 計



救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
事 故 別	出 場 件 数	149	107	107	118	117	122	132	149	131	109	151	172	1,564
	搬 送 人 員	138	99	98	111	112	115	123	135	122	99	139	154	1,445
火 災	出場件数	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	5
	搬送人員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	出場件数	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
交通事故	出場件数	6	3	4	3	13	7	7	4	9	6	12	14	88
	搬送人員	6	3	4	3	13	7	6	3	9	6	12	12	84
労働災害	出場件数	1	1	3	0	4	1	3	3	1	0	5	0	22
	搬送人員	1	1	3	0	4	1	3	2	1	0	5	0	21
運動競技	出場件数	1	1	0	0	2	0	1	2	1	0	1	0	9
	搬送人員	1	1	0	0	2	0	1	2	1	0	1	0	9
一般負傷	出場件数	23	14	15	22	17	13	17	23	24	21	21	27	237
	搬送人員	23	14	14	18	17	13	17	21	21	20	21	26	225
加 害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自損行為	出場件数	0	0	0	3	1	1	0	0	1	2	1	1	10
	搬送人員	0	0	0	2	1	1	0	0	1	2	1	1	9
急 病	出場件数	95	77	72	69	64	80	80	91	63	63	87	94	935
	搬送人員	89	70	65	68	59	76	73	86	58	56	76	83	859
そ の 他	出場件数	20	11	13	20	16	19	24	25	31	17	23	35	254
	搬送人員	17	10	12	20	16	17	23	21	30	15	23	31	235

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	119番	一般加入	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	1,271	275	7	11	1,564

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照 会 回 数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上	計
搬 送 人 員	1,417	17	7	3	1	0	1,445

4. 救急隊員の行った応急処置数

処置別 事故別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	859	84	225	277	1,445
止血	2	7	19	8	36
固定	43	58	149	19	269
人工呼吸	3		2		5
心肺蘇生	27	1	4	2	34
酸素吸入	251	12	18	71	352
気道確保	40	1	4	4	49
保温	189	21	37	66	313
被覆	5	18	52	11	86
在宅療法継続	30		2	6	38
ショックパンツによる血圧保持					
除細動	2				2
薬剤投与	4		2		6
その他の応急処置	846	72	215	248	1,381
血圧測定	815	80	219	260	1,374
心音・呼吸音等の聴取	603	62	97	61	823
血中酸素飽和度の測定	832	81	220	269	1,402
心電図	755	53	148	154	1,110
静脈路確保	(CPA前)	1		1	2
	(CPA後)	4	2		6
血糖測定	21		1		22
ブドウ糖投与	2				2

5. 時間別救急出場状況

時間別 事故別	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
急病	41	36	37	86	127	118	103	95	76	78	85	53	935
交通事故	0	2	0	8	7	9	12	17	25	7	0	1	88
一般負傷	6	3	9	26	25	35	32	22	31	23	13	12	237
転院搬送	9	8	3	16	21	41	46	30	18	19	8	15	234
その他	1	0	1	4	10	9	9	9	7	9	7	4	70
合計	57	49	50	140	190	212	202	173	157	136	113	85	1,564

6. 曜日別救急出場状況

曜日別 事故別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合 計
急 病	139	144	125	129	143	116	139	935
交 通 事 故	18	10	9	5	14	22	10	88
一 般 負 傷	41	37	28	31	32	29	39	237
そ の 他	41	57	48	48	52	32	26	304
合 計	239	248	210	213	241	199	214	1,564

7. 現場到着所要時間別出場状況

時間 事故別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均所要時間 (分)
急 病	6	79	520	273	57	935	9.3
交 通 事 故	3	10	39	25	11	88	10.5
一 般 負 傷	1	29	117	72	18	237	9.5
そ の 他	12	11	79	198	4	304	10.3
合 計	22	129	755	568	90	1,564	9.6

8. 収容所要時間別搬送人員

所要時間 事故別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合 計	
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
急 病			4		238		551	27	63	11	3		859	38
交通事故			2		20		54		8	1			84	1
一般負傷			2		60		147	1	14		2	1	225	2
そ の 他			1	1	39	10	147	71	75	69	15	15	277	166
合 計			9	1	357	10	899	99	160	81	20	16	1,445	207

9. 年齢区分別搬送人員

事故別 年齢別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
新 生 児											4	4
乳 幼 児				3			4			25	5	37
少 年				6		5	4			15	3	33
成 年			1	36	15	4	34		6	166	52	314
高 齢 者	1		1	39	6		183		3	653	171	1,057
合 計	1		2	84	21	9	225		9	859	235	1,445

10. 発生場所別搬送人員

場所別 事故別	住 宅	公衆場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	688	134	9	18	10	859
交 通 事 故	2	4		75	3	84
一 般 負 傷	130	47	1	27	20	225
そ の 他	6	245	11	1	14	277
合 計	826	430	21	121	47	1,445

11. 管轄外転院搬送件数

搬送種別 年 別	巡 視 艇	高松市消防局 救 急 艇	ヘリコプター	フ ェ リ ー	海上タクシー (高速艇等)	そ の 他	合 計
平成30年		37	98	56	1(0)		192
令和元年		40	109	55			204
令和2年	1	36	106	64	1		208
令和3年	3	45	103	48			199
令和4年	1	31	97	38	1		168
令和5年	3	32	105	62			202
令和6年	4	46	114	48	2		214
令和7年		45	89	81	3		218

1 2. 傷病程度別搬送人員

事故別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡			1	1			1		2	22	1	28
重 症				2	3		15		1	83	35	139
中 等 症	1		1	15	10	2	94		5	360	145	633
軽 症				66	8	7	115		1	394	4	595
そ の 他											50	50
合 計	1		2	84	21	9	225		9	859	235	1,445

1 3. 小豆2町、年別救急出場状況

年 別 町 別		28 年	29 年	30 年	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	10年間 平 均
土庄町	出場件数	523	555	605	544	502	515	670	590	640	672	582
	搬送人員	472	512	562	504	480	473	630	542	595	619	539
小豆島町	出場件数	724	873	838	854	778	777	911	864	927	892	844
	搬送人員	664	811	789	781	739	730	851	767	875	826	783
郡 外	出場件数				2		1					
	搬送人員				2		1					
合 計	出場件数	1,247	1,428	1,443	1,400	1,280	1,293	1,581	1,454	1,567	1,564	1,426
	搬送人員	1,136	1,323	1,351	1,287	1,219	1,204	1,481	1,309	1,470	1,445	1,323

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

1 4. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

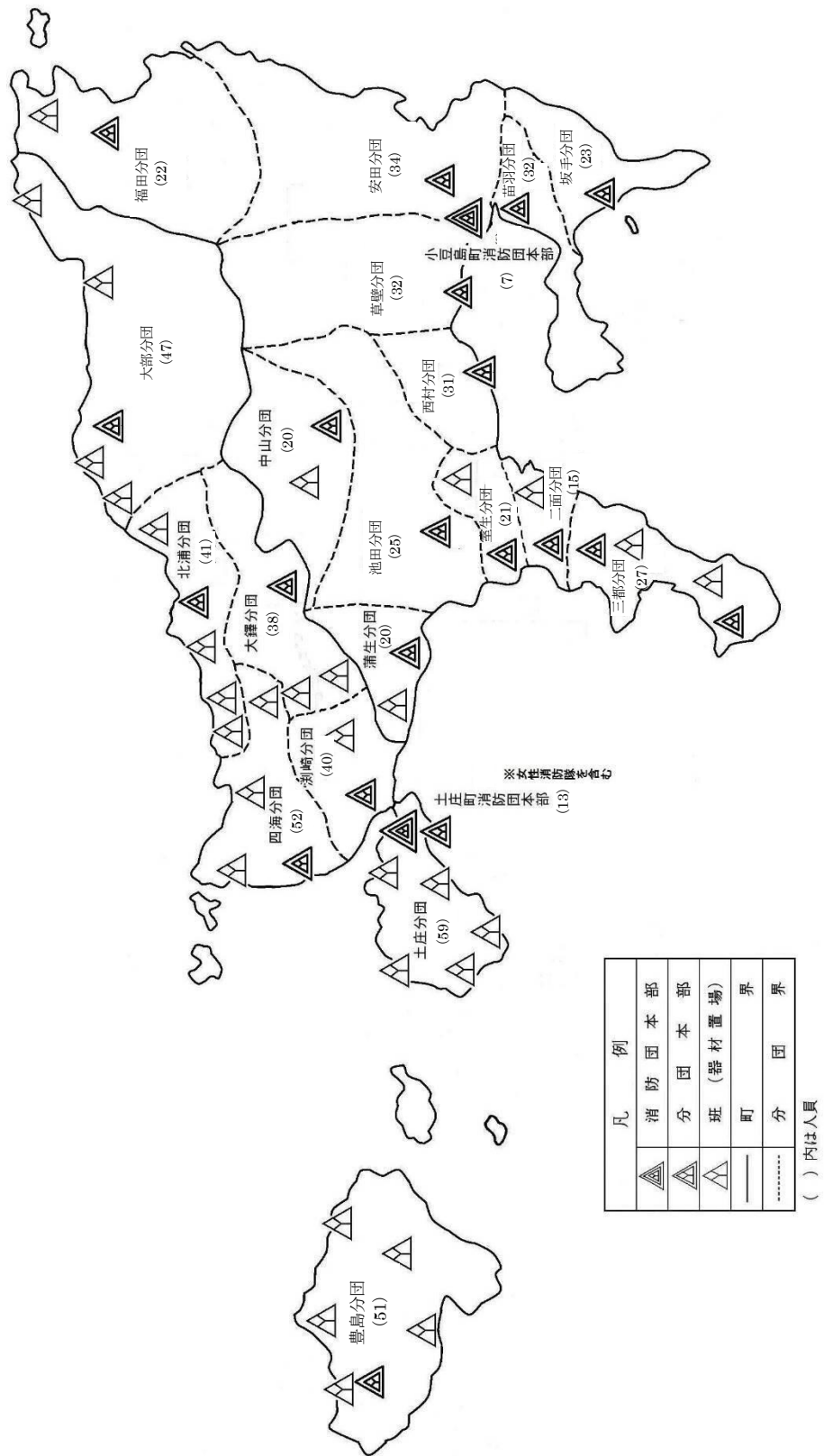
年 別 町 別	28 年	29 年	30 年	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	10年間 平 均
急 病	717	757	815	831	706	762	908	987	959	935	837
交 通 事 故	97	104	87	95	79	63	76	72	64	88	83
一 般 負 傷	185	265	244	208	237	209	224	229	244	237	228
そ の 他	248	302	297	266	258	259	246	293	300	304	277
合 計	1,247	1,428	1,443	1,400	1,280	1,293	1,454	1,581	1,567	1,564	1,426

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

消 防 団

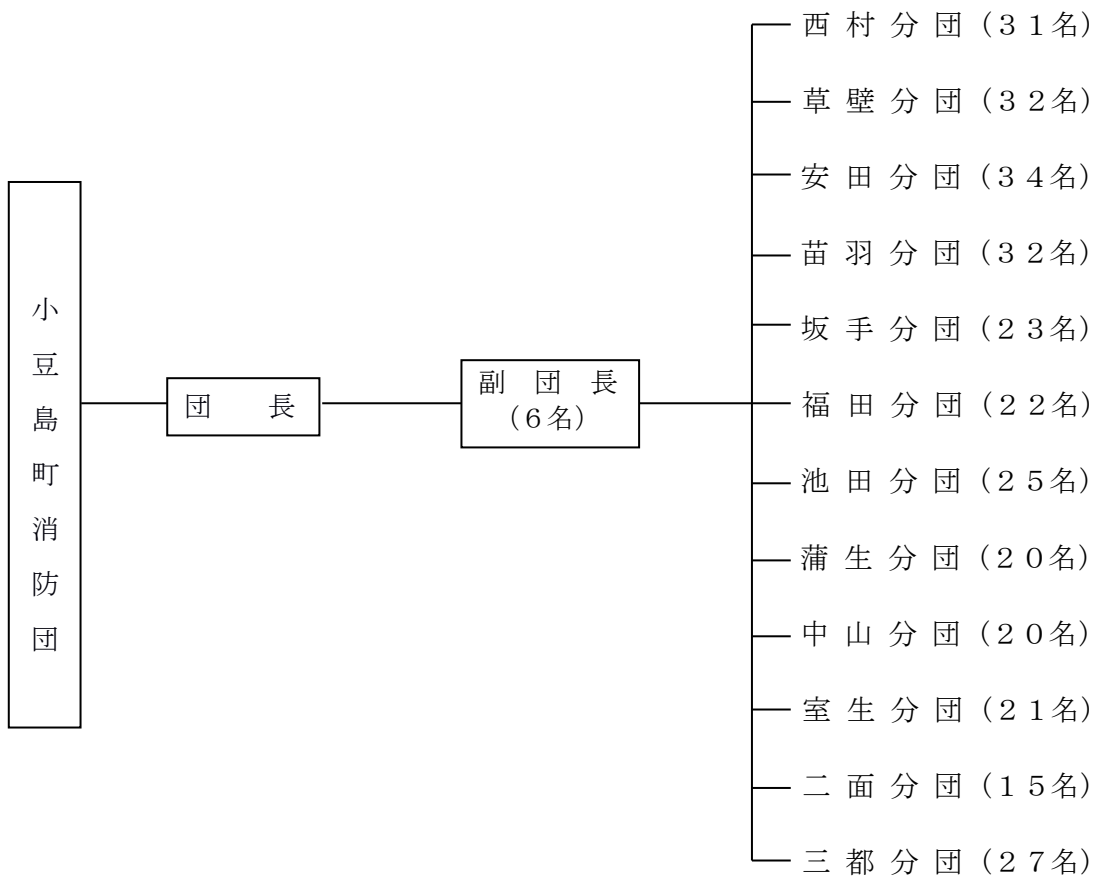
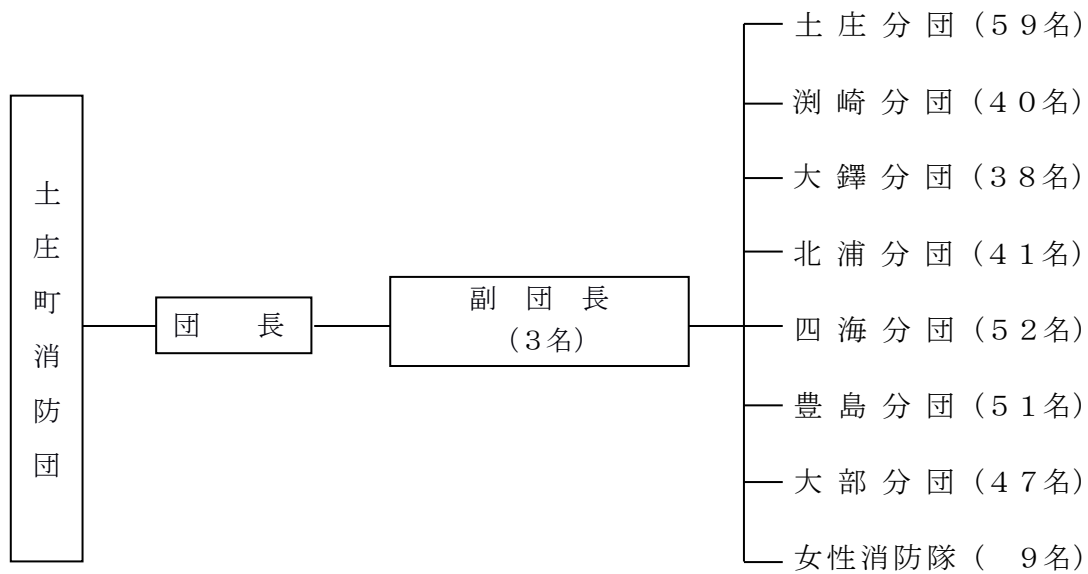


1.2 町消防団現勢分布図



2. 消防団の組織・機構

令和8年4月1日現在



3. 消防団員の勤務年数及び年齢
(勤務年数)

令和8年4月1日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 年 未 満	1 2	1 0	2 2
1 年 ～ 5 年	4 7	4 2	8 9
5 年 ～ 1 0 年	7 5	4 8	1 2 3
1 0 年 ～ 1 5 年	8 0	4 8	1 2 8
1 5 年 ～ 2 0 年	5 7	4 5	1 0 2
2 0 年 ～ 2 5 年	4 1	4 4	8 5
2 5 年 ～ 3 0 年	2 2	4 6	6 8
3 0 年 ～ 3 5 年	5	1 6	2 1
3 5 年 以 上	2	1 0	1 2
合 計	3 4 1	3 0 9	6 5 0
平 均 勤 続 年 数	1 2 . 6	1 6 . 2	1 4 . 3

(年齢)

令和8年4月1日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 8 才 ～ 2 0 才	0	1	1
2 1 才 ～ 2 5 才	5	1 0	1 5
2 6 才 ～ 3 0 才	1 9	1 5	3 4
3 1 才 ～ 3 5 才	3 4	3 2	6 6
3 6 才 ～ 4 0 才	6 7	4 5	1 1 2
4 1 才 ～ 4 5 才	7 5	6 8	1 4 3
4 6 才 ～ 5 0 才	8 1	5 7	1 3 8
5 1 才 ～ 5 5 才	4 3	3 6	7 9
5 6 才 ～ 6 0 才	9	2 7	3 6
6 1 才 以 上	8	1 8	2 6
合 計	3 4 1	3 0 9	6 5 0
平 均 年 齢	4 3 . 2	4 4 . 4	4 3 . 7

4. 消防団員数及び装備状況
(団員数)

令和8年4月1日現在

階級別 団 別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
土 庄 町 消 防 団	1	3	7	7	1 5	4 6	2 6 2	3 4 1
小 豆 島 町 消 防 団	1	6	1 2	1 3	1 3	5 2	2 1 2	3 0 9
合 計	2	9	1 9	2 0	2 8	9 8	4 7 4	6 5 0

(装備状況)

令和8年4月1日現在

種 別 団 別	ポ ン プ 車	積 載 車	小型動力ポンプ	無 線 機
土 庄 町 消 防 団	7	2 8	3 5	3 0
小豆島町消防団	3	1 9	1 9	4 3
合 計	1 0	4 7	5 4	7 3

5. 町別消防車両等種別現況

令和8年4月1日現在

			種 別	年式	車 名	ポ ン プ 型 式	馬 力 数	購入年月日
土 庄 町 消 防 団	団 本 部	指 揮 車		H28	ト ヨ タ		110	H28. 3. 14
		積 載 車		R 5	日 産		130	R 5. 12. 14
		軽四積載車		H31	ス ズ キ		50	H31. 3. 20
	土 庄 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H25	日 野	二段バランスタービン	150	H25. 9. 3
		軽四積載車		H28	三 菱		50	H28. 3. 8
		軽四積載車		H29	三 菱		50	H29. 11. 1
		軽四積載車		R 1	ダイハツ		46	R 1. 7. 4
		軽四積載車		H25	三 菱		50	H25. 11. 1
		軽四積載車		H30	ダイハツ		46	H30. 12. 17
		軽四積載車						
	洩 崎 分 団	ポ ン プ 車	A-2	R 1	日 野	二段バランスタービン	150	R 1. 12. 2
		軽四積載車		H24	三 菱		48	H24. 10. 12
	大 鐸 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H15	イ ス ズ	二段バランスタービン	130	H15. 2. 25
		軽四積載車		H18	ダイハツ		33	H18. 2. 9
		軽四積載車		H13	三 菱		30	H13. 11. 5
		軽四積載車		H10	三 菱		30	H10. 4. 16
	北 浦 分 団	ポ ン プ 車	A-2	R 2	日 野	二段バランスタービン	150	R 2. 2. 25
		軽四積載車		R 3	ダイハツ		46	R 3. 10. 7
		軽四積載車		R 6	ス ズ キ		50	R 6. 3. 28
		軽四積載車		H 3	ホ ン ダ		38	H 3. 11. 7
		軽四積載車		H 3	ホ ン ダ		38	H 3. 11. 7
	四 海 分 団	ポ ン プ 車	A-2	R 3	日 野	二段バランスタービン	150	R 3. 9. 28
		軽四積載車		R 4	ス ズ キ		50	R 4. 5. 26
		軽四積載車		R 4	ダイハツ		46	R 4. 12. 16
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 4. 28
	豊 島 分 団	ポ ン プ 車	A-2	R 6	イ ス ズ	二段バランスタービン	150	R 6. 10. 16
		軽四積載車		R 3	ダイハツ		46	R 3. 3. 24
		軽四積載車		H25	ダイハツ		53	H25. 10. 22
		軽四積載車		H18	三 菱		35	H18. 2. 9
		軽四積載車		R 6	ス ズ キ		50	R 6. 12. 12
		軽四積載車		H22	ダイハツ		49	H22. 11. 16
		軽四積載車		H18	ホ ン ダ		46	H18. 7. 17
	大 部 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H27	日 野	二段バランスタービン	150	H27. 2. 19
		軽四積載車		R 4	ス ズ キ		50	R 4. 3. 16
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17

	団本部	軽四指揮車		R 3	ダイハツ		46	R 3. 12. 16
		軽四積載車		H13	スバル		34	H13. 4. 1
		団本指揮車		R 5	日産		132	R 5. 3. 16
	西村分団	積載車		H19	三菱		110	H19. 3. 19
		軽四積載車		R 5	ダイハツ		46	R 5. 3. 22
	草壁分団	積載車		H19	日産		98	H19. 2. 19
		軽四積載車		R 4	ダイハツ		46	R 4. 1. 27
	安田分団	積載車		H12	三菱		105	H12. 8. 29
		軽四積載車		R 6	ダイハツ		46	R 6. 3. 13
	苗羽分団	積載車		H22	イズ		110	H22. 3. 26
		積載車(人搬)		H 9	日産		98	H 9. 9. 18
	坂手分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 3. 23
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 9. 27
	福田分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 2. 19
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 3. 18
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12. 11. 9
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12. 11. 10
	池田分団	ポンプ車	A-2	R 3	日野	二段バランスタービン	150	R 3. 3. 26
	蒲生分団	積載車		H13	三菱		94	H13. 9. 4
	中山分団	積載車		H12	三菱		94	H12. 2. 28
	室生分団	積載車		H15	三菱		94	H15. 9. 3
	二面分団	積載車		R 8	トヨタ		91	R 8. 3. 31
	三都分団	積載車		H14	三菱		94	H14. 8. 20
		積載車		H11	三菱		94	H11. 3. 17

6. 消防団員報酬調（年額）

令和8年4月1日現在

階級 団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
小豆島町消防団	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

7. 消防団員諸手当調

令和8年4月1日現在

土庄町消防団	出動報酬	災害出動	1日につき	4時間以内	2,000 円
				4～8時間	4,000 円
				8時間以上	8,000 円
		災害出動以外の出動	1日につき	4時間以内	2,000 円
				4～8時間	4,000 円
				8時間以上	8,000 円
小豆島町消防団	出動報酬	災害出動	火災	4時間以内	2,000 円
				4～8時間	4,000 円
				8時間以上	8,000 円
			天災	1日当たり	8,000 円
		災害出動以外の出動		4時間以内	2,000 円
				4～8時間	4,000 円
				8時間以上	8,000 円